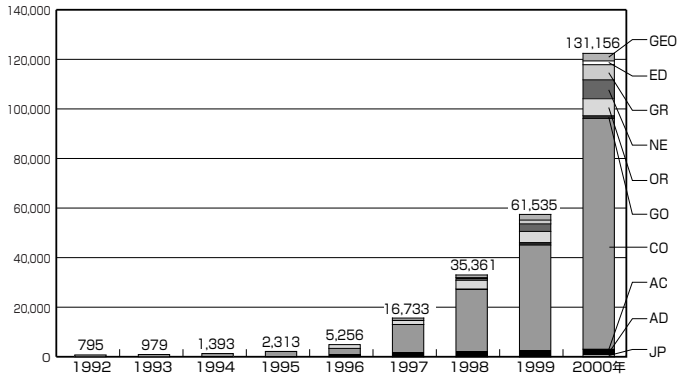


## 第4章 ドメインとIPアドレス

### ドメイン

### JPドメインが13万件突破

資料4-4-1 JPドメイン名登録数の推移



注) 1992年は5月1日、それ以降は2月1日時点

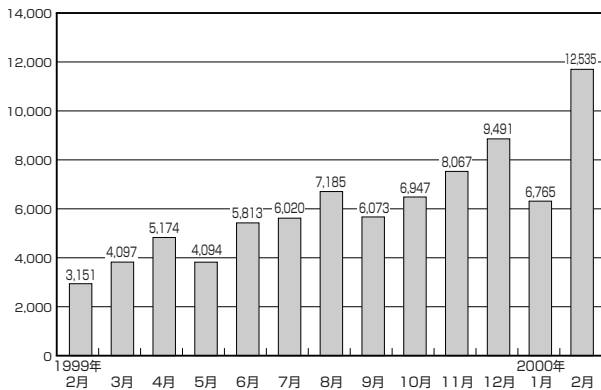
出所 JPNICの資料を元に作成

参考URL <http://www.nic.ad.jp/jp/regist/dom/>

表1 JPドメイン名の種類

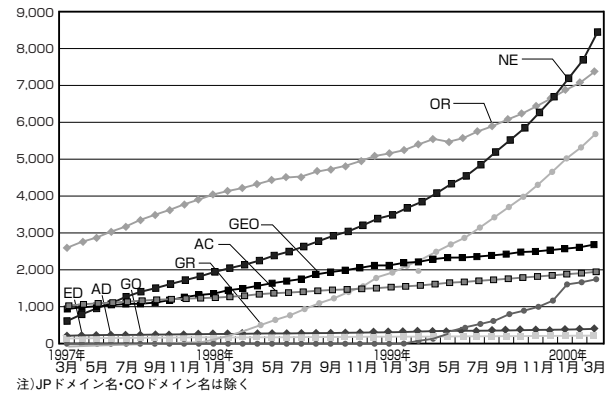
種類	主な登録資格
ACドメイン名	大学などの主に18歳以上を対象とする教育機関など
ADドメイン名	JPNIC会員が運用するネットワークなど
COドメイン名	株式会社などの営利法人
EDドメイン名	小中高校など主に18歳未満を対象とする教育機関など
GOドメイン名	日本国の政府機関など
GRドメイン名	任意団体など
NEドメイン名	ISPなどのネットワークサービス
ORドメイン名	財団法人などの日本国法で設立された非営利法人
地域型ドメイン名	属性型ドメイン名登録資格を有する組織、個人、地方公共団体など

資料4-4-2 月別ドメイン名登録数の推移



出所 JPNICの資料を元に作成

資料4-4-3 セカンドレベルドメイン数の推移



注) JPドメイン名・COドメイン名は除く

出所 JPNICの資料を元に作成

## 解説

JPNIC（社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター）は、国際的に定められた日本を表す国別トップレベルドメイン名であるJPドメイン名の登録管理業務を行う非営利法人である。JPドメイン名の種類は、表1のとおりである。JPドメイン名は、日本に存在する組織や個人を対象に1組織1ドメイン名の原則で登録申請書受付順に登録される。（登録条件などの詳細な情報については、表1のURLを参照）

資料4-4-1は、1992年から2000年まで1年ごとのJPドメイン名登録数の推移を示している。JPドメイン名の登録数は、毎年2倍前後の高い伸び率で増加しており、1999年9月28日には10万件を突破、2000年2月1日時点では13万1156件となっている。特に、企業が登録されるCOドメイン名の登録は、2000年2月1日時点で10万4322件と8割を占めており、企業活動にとってイン

ターネットの重要性が増している。資料4-4-2は、最近1年間の月別ドメイン名登録数の推移を示すが、月ごとにも増加していることがわかる。

資料4-4-3は、最近3年間のJPドメイン名種類ごとの推移を示すが、NEドメイン名とGRドメイン名の伸び率が高いこと、EDドメイン名は区市町村教育委員会単位のネットワークでの登録が多いことを考えれば、一般社会、青少年へのインターネットが普及しつつあると思われる。今後もJPドメイン名の登録数の増加は、当面変わらないと予想される。

（河北隆生 JPNICドメイン名検討部会）



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)